

### 《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

#### ◆25年度インフレ率2.7%、4年連続2%超 政府抑制策も強まる上昇圧力

・2025年度の消費者物価上昇率は生鮮食品を除き前年度比で2.7%。コメを中心に伸び、4年連続で日銀目標の2%を超えた。中東混乱に伴う燃油高を政府は補助金で抑え込むものの、関連製品への波及が上昇圧力を強める。総務省が発表した。25年度の物価上昇をけん引したのは食料品で、伸び率は生鮮食品を除いて7.0%だった。

#### ◆3月の消費者物価1.8%上昇 2カ月連続で伸び率2%下回る

・総務省が発表した3月の消費者物価指数(CPI、2020年=100)は変動の大きい生鮮食品を除く総合が112.1となり、前年同月比で1.8%上昇。政府の電気・ガス代補助などでエネルギー価格を抑えており、上昇率は2カ月連続で2%を下回った。事前にまとめた市場予測の中央値も1.8%上昇。食料品を中心に物価上昇は続き、4カ月ぶりに前月と比べて拡大。

#### ◆パスポート手数料44%下げ8900円 7月から、大人は期間5年廃止

・パスポートの発行にかかる手数料が7月から大幅に下がる。18歳以上の大人が有効期間10年でオンライン申請する場合、現在の1万5900円から44%安い8900円になる。日本は諸外国に比べて旅券の保有率が低い。政府は取得を後押しする。パスポート申請の手数料の改定を柱とした改正旅券法が参院本会議で全会一致で可決、成立。

### 《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

#### ◆原油高「消費抑制策を」66%、経済学者調査 在宅勤務など供給減に備え

・日本経済新聞社と日本経済研究センターは経済学者を対象とする「エコミクスパネル」で原油高への対応を聞いた。石油の消費抑制策が「必要」とする回答は66%に達した。原油の供給が滞るのに備え、在宅勤務や節電を求める声が多い。原油の消費を刺激する政府のガソリン補助金は、縮小や撤廃を支持する意見が86%を占めた。

#### ◆セメント需要、働き方改革が下押し 工事時間短縮で61年ぶり低水準

・建設資材のセメントの国内需要の縮小が続いている。2025年度のセメントの国内販売量は7年連続で減少し、61年ぶりの低水準に落ち込んだ。建設関連業界の働き方改革に伴い工事の時間短縮が広がり、資材需要減少傾向続く。国内販売量は24年度比6.5%減の3050万8954トン。期初想定(3200万トン)を大幅に下回り、1964年度以来の低水準。

#### ◆接着剤のコニシ、ボンドを2割以上値上げ 中東情勢の影響

・接着剤大手のコニシは中東情勢の影響でボンド製品を値上げすると明らかに。原料のナフサ(粗製ガソリン)価格が高騰しており、5月1日出荷分からボンド製品全般を現行の20%以上値上げ。6月以降は原料メーカーからの調達が見えないため、海外からの調達も検討。約7割が住宅向けの接着剤で、TOTOのユニットバスの接着剤にも採用。

### 《 注目商品 》

#### ■トクラス、新時代の水まわり「Noare(ノーレ)」

・浮遊感のあるデザインのフロートタイプや、椅子に座りゆったりとした時間を過ごせる片側オープンプランなど。「マルチユースベッセル」ボウルを採用。小物の仮置き・飾り棚に使えるデザインシェルフや扉と同色に揃えることもでき、まとまり感のあるスタイルを実現。



#### ■三協立山・三協アルミ社、宅配ボックス付きのスリムな機能ポール

・宅配ボックス機能をプラスし、フラット基調でノイズレスなデザインへモデルチェンジした機能ポール。スリムデザインでありながら、80サイズまでの宅配物に対応可能。照明内蔵タイプは、スリット照明で機能ポールの位置を示し、夜間の視認性向上と操作補助を実現。



#### ■ジャニス工業、洗面器のパターンオーダーを開始

・洗面器・手洗器のパターンオーダーの新ブランド「irodori(いろどり)」を開始。サイズは対応範囲内であれば自由に指定することができ、色は基本色ホワイトに加え、10種類の受注色、特注色も可能。小ロット国内生産による在庫リスク削減を実現。

